

課題名	遺伝子資源の長期保存に関する基盤整備技術の開発
課題管理者	小林 正智 理化学研究所バイオリソースセンター
実施期間	2007 - 2009 年度
概要・実施体制	<p>理研 BRC は第 1 期 NBRP より遺伝子材料の中核機関として選定を受け、動植物並びに微生物の DNA を収集・保存・提供する世界有数のリソースセンターとして活動してきました。理研 BRC が保存する遺伝子材料は既に 400 万系統に達しており、保存コストを削減するとともに災害等に備えてバックアップリソースを整備して滅失防止を図る必要があります。</p> <p>そこで本課題では遺伝子材料を低コストで長期間保存する技術として、1) DNA を常温または冷蔵保存するための技術、2) 組換え大腸菌を冷凍 (-30℃) または液体窒素で保存する技術、を開発しました。開発した技術を理研 BRC が実施する事業に適用してコスト削減とバックアップ体制の整備を図るとともに、コミュニティとのノウハウの共有を目指します。</p>
成果	<p>日本分子生物学会第 32 回年会 PDF 版 (0.4MB)</p> <p>日本農芸化学会 2010 年度大会 PDF 版 (0.2MB)</p>